

[文書26]

深江家文書目録

請求記号・文書26

深江家文書解題

〔旧蔵者〕 未詳
〔旧蔵地〕 長崎県北松浦郡平戸町
〔文書数〕 166点（3冊・163通）
〔本館収蔵〕 昭和54年購入

〔文書の伝来〕 本文書は肥前平戸藩（松浦氏6万3千石）の藩士深江家に伝わったものの一部である。平戸藩は慶長5（1600）年に松浦鎮信が徳川家康より6万3千石を与えられて、寛文4（1664）年に1500石を分知しただけで、幕末まで藩主の交替がなかった。松浦氏は中世初期以来のいわゆる松浦党の中心氏族であり、近世に大名として存続した数少ない旧族である。深江氏はその文書内容から、この松浦氏平戸藩の藩士と推定され、幕末には寺社奉行であったことが判明する。現在、平戸町の旧藩主松浦家文庫には、世襲品をはじめ、藩政文書もほぼ完璧な型で残されているようであるが、その中には「藩臣録」が数種あり、深江氏のこともそれらをみればより詳細にわかるかと思う。現地調査ができなかったので、ここでは簡単に書いておくことにとどめたい。

深江氏も肥前の中世以来の旧族であり、正応5（1292）年に、東国から西遷して肥前国高来郡深江郷（現長崎県深江町）の地頭職を得て土着したようである。戦国末期には、竜造寺氏に属し、天正12（1584）の対島津合戦で敗北し、一族が四散したようである。その後、鍋島氏や松浦氏の家臣となったものがおり、この文書を残した深江氏もそうした経過をたどったものと推定される。文書中には系図や由緒書類がなく、詳しいことはわからないが、文政年間には深江右源太が小納戸頭に任ぜられており、幕末には与五平が勘定奉行（中老）や寺社奉行を勤めていたことがわかる。明治以降の文書はほとんどなく、その後の消息はわからない。本文書は東京の古書肆から購入したものであって、その出所や伝来経過は不明である。

〔文書の内容〕 総点数が166点と少ないうえ、冊物はほとんどなく、大部分が書状や手控など私的なものであるため、利用上には限界がある。しかも半数以上は無年号のものであり、有年号のものもほぼ幕末期に集中しているので、その点からも限定された文書内容である。以上の点を念頭において、以下、目立った傾向のものを紹介しておく、何といっても寺社奉行を勤めた関係で、藩主松浦家の墓所改修や寺社支配に関するものが一番まとまっており、この方面では利用価値が高いであろう。ついで注目されるのは、勘定奉行を勤めた時期のものと思われる知行地関係のもの（文書番号86他）がいくつかある。その他公的なものとしてはペリー来航による幕政混乱にともなって、平戸藩改易の世評が流れた状況を物語るもの（同22）、幕末の公武合体論に関する意見書（同39）関東親征供奉達書（同45）、王政復古趣意書（同48）などが目につく。全体として書状類が多いが、それも役務に関する内容のものが多く、全くの私的なものはほとんどみられない。いずれにしても、これは同家旧蔵文書のごく一部分であり、これ以外のものがどういう状態なのかはわからないが、小藩の藩士文書としては参考になる点が多い。

家之紋〔松浦家覚〕 寛政11年 中紙1通	1	御焼香御直被墨入手数 深江→弘化4年10月4日 小紙1通	17
日記〔役向書状控書〕 深江→木村権兵衛他 文化10年5月—6月 小紙1通	2	石燈籠銘草稿 道可公250忌 弘化5年 小紙4通	18 (1-4)
願書〔書法上達成就〕 深江右源太→文化13年閏8月15日 小紙1通	3	御会席付〔御手親茶会〕 深江昌温→嘉永2年正月26日 小紙1通	19
〔小納戸頭任命関係書〕 峯中務→深江右京太 文政10年正月26日 小紙4通	4 (1-4)	霊夢覚書〔行光の大小刀〕 深江 嘉永3年6月7日 小紙1通	20
起請文〔小納戸役請状〕 文政10年正月27日 小紙1通	5	旅中安善御守並願書 深江与五平→観音院 嘉永5年8月27日 小紙2通	21 (1-2)
竜瑞寺境内石燈籠銘下調 天保3年正月晦日 小紙1通	6	〔国替世評の否定〕 松浦老岐→家老中 (嘉永6年)5月 小紙1通	22
書状〔刀鑑定報告〕 右田勘助→深江右源太 天保5年4月28日 小紙1通	7	書付〔老岐一件に付出府〕 松浦大内蔵→深江与五平 嘉永6年7月 小紙2通	23 (1-2)
中里新田調に付金子請書控 深江右源太→山本文七 天保8年12月 小紙4通	8 (1-4)	剪紙〔中老勘定奉行任命召出〕 松浦大内蔵→深江与五平 嘉永6年7月6日 小紙1通	24
書状〔痘瘡治癒祈願〕 深江与五平→観音院 天保12年3月18日 小紙1通	9	一切経修覆料願 雄香寺麗宗→安政元年6月10日 小紙1通	25
丑秋竹の郷上米願書他 森田弥兵衛→天保12年11月 小紙2通	10 (1-2)	峯公墓普請一件亀帳 安政5年5月 竖帳1冊	26
願文〔子供等痘瘡消除〕 和南→深江 弘化2年3月17日 小紙1通	11	伺書〔古墳地面買上〕 山口英太郎→深江与五平他 (安政5年)6月6日 小紙1通	27
誓詞写〔御用召用人請状〕 松浦玄蕃→深江与五平 弘化3年5月16日 小紙4通	12 (1-4)	粗図〔峯公尊塔〕 二十三世庶流臣源春 安政6年10月 中紙4通	28 (1-4)
願文案〔書法上達〕 深江→弘化4年3月13日 小紙1通	13	〔志日岐神社昇格〕 誓願寺隠居→安正6年11月 小紙1通	29
船注文〔猪牙船〕 深江→弘化4年8月 小紙1通	14	〔寺院作法並心得向覚〕 月香→寺社奉行 安政6年11月 小紙1通	30
〔平戸御祭式帳写〕 源昌恒→弘化4年9月 小紙1通	15	峯披公尊塔〔銘文案〕 安政6年 小紙1通	31
平戸祭式〔藩主法事〕 (弘化4年) 小紙1通	16	誓詞写〔瑞雲寺後席〕 万延元年7月11日 小紙6通	32 (1-6)

- 香炉花筒下図〔獅子嶽墓所〕 33
中井彦左衛門 万延元年 8 月 15 日 小紙 2 通 (1-2)
- 口上覚〔住職隠居願〕 34
誓願寺隠居→ 万延元年 8 月 28 日 小紙 1 通
- 書状〔墓所由緒取調願〕 35
式部卿→村上京蔵 万延元年 11 月 小紙 1 通
- 書状〔後住承認添状〕 36
本山→瑞雲寺 文久元年 2 月 4 日 小紙 2 通 (1-2)
- 瑞雲寺門前落書写 37
→寺社奉行 文久元年 11 月 中紙 1 通
- 書状控〔先住職死去〕 38
寺社奉行→太清院他 文久 3 年 3 月 小紙 1 通
- 口上書案〔公武合体出版一件〕 39
深江→ 文久 3 年 4 月 小紙 1 通
- 獅子岳御香炉下図 40
深江→石工久家初次郎 元治元年 9 月 中紙 2 通 (1-2)
- 豊功院様二十五忌法事龕帳 41
深江与五平→ 慶応元年 6 月 竖帳 1 冊
- 覚〔上納初見積書〕 42
七種笹右衛門→ 慶応 2 年 9 月 22 日 小紙 1 通
- 覚〔当社上米書立〕 43
鴨居助兵衛→ 慶応 2 年 9 月 小紙 1 通
- 書状〔相神浦新田一件〕 44
七種笹右衛門→深江与五平 慶応 2 年 11 月 20 日 小紙 1 通
- 関東親征供奉達書写 45
行幸奉行→松浦肥前守 慶応 4 年 3 月 小紙 1 通
- 寺社奉行罷免並月番切紙 46
小倉衛守→深江与五平 慶応 4 年 6 月 22 日 小紙 2 通 (1-2)
- 手控〔岳之野新田他上米減少〕 47
深江与五平→山本久兵衛 明治元年 2 月 6 日 小紙 2 通 (1-2)
- 御意筋書取写〔王政復古〕 48
明治元年 5 月 20 日 小紙 1 通
- 〔田方出来毛見積〕 49
村上采蔵他→ 明治 2 年 9 月 16 日 小紙 2 通 (1-2)
- 記〔米銭差出覚〕 50
森田弥平→峯与五平 明治 9 年 9 月 20 日 小紙 2 通 (1-2)
- 書状〔大砲鑄立一件〕 51
滝川三之助→深江与五平 (年不詳)正月 17 日 小紙 1 通
- 覚〔刀筒大金請取〕 52
井筒屋善兵衛→年田部 (年不詳)西 2 月 4 日 小紙 1 通
- 書状〔墓守江心得方申渡〕 53
紅林伊九郎他→深江与五平 (年不詳)2 月 8 日 大紙 1 通
- 書状〔堤普請夫米世話〕 54
森田弥平→深江与五平 (年不詳)2 月 20 日 小紙 1 通
- 〔当月中出仕覚〕 55
深江秀三郎→ (年不詳)2 月晦日 小紙 1 通
- 書状〔般若院後住返書〕 56
寺社奉行→飯田河内介他 (年不詳)3 月 小紙 2 通 (1-2)
- 書状〔尊父病氣見舞〕 57
鮎川権兵衛→大口形平 (年不詳)4 月 12 日 小紙 1 通
- 覚〔御手水鉢建造〕 58
深江与五平→ (年不詳)4 月 19 日 小紙 1 通
- 〔槍仕立見積書〕 59
森村や与七→ (年不詳)亥 4 月 中紙他 4 通 (1-4)
- 〔近習打込稽古呼状〕 60
(年不詳)5 月 1 日 小紙 1 通
- 書状〔阿蘭陀船見学御供〕 61
松浦権之助→深江与五平 (年不詳)6 月 5 日 小紙 1 通

屋敷替書取写並口伝
田村→ (年不詳) 6月27日 小紙 2通

書状案 [釣堤灯寄附]
深江与五平他→知恩院 (年不詳) 7月18日 小紙 1通

書状 [先祖系図菱紋調]
深江右源太→熊沢小膳 (年不詳) 7月23日 小紙 1通

[公辺之儀伺状案]
深江与五平→ (年不詳) 7月27日 小紙 1通

書状 [奉行衆参会願状]
滝川三之助他→深江与五平 (年不詳) 8月3日 小紙 1通

書状 [船揃之節馳走]
坂本弥左衛門→深江右京太 (年不詳) 8月17日 小紙 1通

書状 [法事出席願]
滝川三之助→深江与五平 (年不詳) 8月18日 小紙 1通

書状 [出勤伺]
滝川三之助→深江与五平 (年不詳) 8月20日 小紙 1通

書状 [用向書状書取願]
滝川三之助→深江与五平 (年不詳) 8月22日 小紙 1通

書状 [堂社修覆講開催]
富樫主馬他→深江与五平 (年不詳) 8月 小紙 1通

書状案 [家中諸士役向覚]
(年不詳) 9月5日 小紙 1通

書状案 [誓願寺本末混雜]
滝川三之助→智恩院 (年不詳) 9月6日 小紙 1通

[松浦家墓所造立伺]
深江与五平→ (年不詳) 9月12日 小紙 1通

請書 [尊翰返礼]
(年不詳) 9月12日 小紙 1通

書状案 [一橋家相続祝品伺]
深江→ (年不詳) 末10月4日 小紙 1通

62
(1-2)

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

書状 [峯雪庵隠居式部卿一件]
村上采蔵→ (年不詳) 10月22日 小紙 1通

書付 [請出銀に付]
近藤十之助→深江屋敷取次衆中 (年不詳) 已10月26日 小紙 4通

書状 [先祖書請書]
高田持曹→深江右源太他 (年不詳) 10月26日 小紙 1通

歎願書 [住職交替事]
瑞雲寺→大本山役局 (年不詳) 申10月 小紙 1通

[墓所関係者謝儀下調書]
深江与五平→ (年不詳) 11月8日 小紙 1通

証文 [金子借用]
森田喜助→深江与五平 (年不詳) 丑11月20日 中紙 1通

書状 [当表出陣揃写]
当地→山口 (年不詳) 11月26日 小紙 1通

書状 [神慮書の指図]
深江→ (年不詳) 辰12月7日 小紙 1通

書状 [田代御示談筋一件]
石尾源左衛門→広川文左衛門 小紙 1通

御領分田方合附並雜穀米引
(年月日不詳) 折帳 1冊

頼光卿祈願書写
源朝臣→成相寺衆徒 (年月日不詳) 中紙 1通

獅城之内披公墓之図
山口英太郎 (年月日不詳) 中紙 3通

[松浦家一族戒名表]
(年月日不詳) 大紙 1通

位牌絵図 [牡丹軒様]
(年月日不詳) 小紙 4通

書状案 [碑文草稿校閲]
深江→ (年月日不詳) 小紙 1通

[覚翁公墓石造立図案]
(年月日不詳) 中紙 1通

77

78
(1-4)

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88
(1-3)

89

90
(1-4)

91

92

中里に有之墓〔銘覚書〕 (年月日不詳) 小紙1通	93
御隠居様印山寺参詣次第 (年月日不詳) 小紙1通	94
〔唐津領田代氏調書〕 (年月日不詳) 中紙1通	95
祝詞案〔元旦祭典〕 松浦詮遥 (年月日不詳) 大紙2通	96 (1-2)
社家名前付〔平戸〕 (年月日不詳) 小紙1通	97
書状〔院号相談〕 東光寺→深江与五平 (年月日不詳) 小紙3通	98 (1-3)
御内書飛脚到来御覧手数 (年月日不詳) 小紙1通	99
山伏裁許再勘書取 滝川三之助→ (年月日不詳) 小紙1通	100
佐賀巡見船略図 (年月日不詳) 小紙2枚	101 (1-2)
書状案〔守護明王像申請〕 深江→ (年月日不詳) 小紙1通	102
書状案〔参勤月次祈禱〕 (年月日不詳) 小紙1通	103
道可様御笛之記写 (年月日不詳) 小紙1通	104
醍醐書状並返書〔後住就任〕 (年月日不詳) 小紙2通	105 (1-2)
〔鶴田越前守墳墓覚〕 県景峻 (年月日不詳) 小紙1通	106
書状案〔宗法本山伺〕 松浦勝郎→ (年月日不詳) 小紙1通	107
書状〔江戸本山裁許通知〕 滝川三之助→深江与五平 (年月日不詳) 小紙2通	108 (1-2)
書状案〔京都操出用船他〕 (年月日不詳) 小紙1通	109
〔文書断片〕 (年月日不詳) 小紙8通	110 (1-8)